

様式第 1 号（要綱第 2 条関係）

様式第 15（規則様式第 8 条の 15 関係）

岩 石 採 取 計 画 認 可 申 請 書

年 月 日

振興局長 殿

住 所
氏名又は名称及び
法人にあつてはそ
の代表者の氏名

登録年月日 年 月 日
採石業者登録番号 大分県採石第 号

電話番号

採石法第 3 3 条の規定に基づき、次のとおり採取計画の認可を申請します。

1 岩石採取場の区域				
(1) 所在地				
(2) 面積等	採取場の 総面積	m ²	今回採取 する場所 の面積	m ²
2 採取をする岩石の種類および数量				
岩石の種類				合計
採取量	t	t	t	t

3 採取の期間	年 月 日から 年 月 日まで			
4 岩石の採取の方法および採取のための設備その他の施設に関する事項				
(1) 掘削方法	イ 階段採掘 ロ 傾斜面採掘 ハ その他 ()			
(2) 掘採手段	手掘り ・ 機械掘り			
(3) 掘削用 機械器具	名 称	数 量	積載量 能力 時間当り	
(4) 運搬機械				
(5) 火薬使用	使用の有無	有 ・ 無		
	火薬の種類			
	年間使用 予 定 量	kg	kg	kg
	小割発破 の 有 無	有 ・ 無		

	名 称		電 動 機 出力 (KW)	時間当り 能力 t / 時	
	(6) 破 碎・ 選別設備				
(7) 製品堆積場		製品堆積場の有無	有 ・ 無		
		面積等	m ² (ヶ所)		
	堆積場から国道又は県道までの搬出経路				

5 岩石の採取に伴う災害の防止のための方法および施設に関する事項		
(1) 周辺の土地の利用状況	周辺の土地の利用状況及び公共施設等の状況	
(2) 崩壊防止	掘削面の高さ	最大高低差 (m) 階段掘りの 階段の高さ (m)
	掘削面の勾配	(度)
	保全区域	平均幅 (m) 最小幅 (m)
	防止方法	
(3) 飛石防止	切羽から最も近い民家までの距離 (m)	
	切羽から最も近い公共施設(道路・鉄道等)までの距離 (m)	
	防止方法	
(4) 粉じん防止	設備及び対策	
	大気汚染防止法による特定施設の届出	有 ・ 無

(5) 騒音防止	設備及び対策				
	騒音規制法による特定施設の届出			有 ・ 無	
(6) 汚濁水の 処 理	水洗の 状況	水洗の有無	有・無	使用水量	m ³ /日
		排 水 量	m ³ /日	排水の放流場所	
	谷川及 び湧水 の状況				
	処理系統図（集水面積、沈殿池の能力、凝集剤の利用状況等）				
	へ 泥 の 処理方法	堆積場の状況	面 積 （ m ² ） 土留施設		
		最 終 的 処分方法			
水質汚濁防止法による特定施設の届出				有 ・ 無	

(7) 脱水ケーキの処理	処理方法			
(8) 採取跡の措置	措置の方法	面積	時期	必要な費用
		m^2		円
		m^2		円
		m^2		円
		m^2		円
		m^2		円
	合計	m^2		円

6 岩石の賦存状況	
(1)地形・地質	
(2)岩石の走向 及び傾斜	
(3)岩石の 賦存量	
7 採取をする岩石の用途	
(1)採取する 岩石の用途	コンクリート用 t (年間予定量)
	道 路 用 t (年間予定量)
	砂 t (年間予定量)
	そ の 他 t (年間予定量)
(2)主たる 出荷先	
8 廃土または廃石のたい積方法	
(1)表土の 厚さ	平均値 (m) 最大値 (m)
(2)廃土石 の発生量	(m ³)
(3)堆積場の 設置場所	
(4)堆積場 の能力	面積 (m ²) 容量 (m ³)
(5)廃土石の販 売等の状況	
(6)廃土石の処 理方法及び 崩壊、流出 防止の方法	

9 その他							
(1)採石法上の事務所	所在地						
	名称	TEL					
(2)従業員		事務	採石	破砕	運搬	その他	計
	直轄						
	請負						
	計						
(3)業務管理者	番号	氏名		住所			
(4)監督計画等	採石作業時間内での業務管理者の監督計画						

(5) 採石の権原	自己所有地	m ²						
	他人所有地	m ² 契約期間						
	公 有 地	m ²						
	採石権の設定	有 ・ 無		年	月	日から	年	月
(6)管理機構 組織図								
(7)備 考	作業時間 夏 季 時 分から 時 分まで 冬 季 時 分から 時 分まで							